

# 市議会だより

市議会ホームページのご案内

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>

市議会だよりや会議録、インターネット中継などがご覧いただけます。



## 12月定例会が開かれました

12月定例会が令和6年12月3日から12月11日まで9日間の会期で開かれました。

市長から84件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案について原案のとおり決定しました。また、議員から提出された議案は10件で、うち7件を可決しました。

|      |      |  |
|------|------|--|
| 主な内容 | 1面   | 本会議での議案に対する賛否一覧 など   |
|      | 2～3面 | 本会議での会派質疑・一般質問と答弁  |
|      | 4面   | 本会議での一般質疑と答弁<br>常任委員会の所管事務調査についての報告、<br>空港特別委員会の調査研究についての報告 など |

## 本会議での質疑・質問と答弁

この市議会だよりでは、本会議での質疑・質問と答弁の要約したものを掲載しています。

詳細な会議録は、3月上旬頃から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。

また、市議会のホームページには2月上旬頃に会議録(速報版)を掲載します。

なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、3月下旬頃からとなります。



## 議員提案の政策条例は6年ぶり「北九州市子ども基本条例」を可決

本市では、国が提唱する子ども政策の中心となる「こどもまんなかアクション」の趣旨に賛同し、市民、企業、団体等、社会全体で子どもや子育てに優しい社会の実現を目指してさまざまな取組を行っています。私たち市議会では、子どものための取組を進めるには、まず、子ども自身も、そして大人も「子どもの権利」について知ることが一番大切であると考え、全ての会派から有志が集まり「子ども基本条例検討会」を令和5年4月に立ち上げました。

条例を作るに当たっては、合計26回の検討会を開催し、25団体、50名の皆様から直接ご意見を伺いました。また、パブリックコメントでは65の団体・個人から156件の意見をいただきました。

こうした過程を踏まえ、議員提案の政策条例としては6年ぶりとなる「北九州市子ども基本条例」議案は、令和6年12月定例会に提出され、賛成多数で可決されました。条例の施行期日は令和7年4月1日の予定ですが、子どもを取り巻く環境や価値観等は常に変化し続けています。

これからも皆様の声を聞きながらご意見を反映させていきたいと考えております。

条例文のほか、検討会での議論の概要やパブリックコメントでいただいたご意見をホームページで公開しています。



## 令和6年12月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧

詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001122622.pdf>



| 種別                                | 件名  | 議決結果 | 自民・無 | 公明党 | ハート | 共産党 | 維新の会 | 自民市民 | 井上し | 村上さ | 若松 | 変革未来 |   |
|-----------------------------------|---|------|------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|----|------|---|
| 市長が提出した議案                         | 公益的法人等への北九州市職員の派遣等に関する条例の一部改正／刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例／市職員の給与に関する条例等の一部改正／市職員退職手当支給条例の一部改正／市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正／手数料条例の一部改正／保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正／児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正／産業観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正／附属機関の設置に関する条例の一部改正／市立の小学校、中学校及び特別支援学校の教職員の給与に関する条例等の一部改正／市立の小学校、中学校及び特別支援学校の教職員の退職手当に関する条例の一部改正 | 可決   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ○    |   |
|                                   | 市民センター条例の一部改正   | 可決   | ○    | ○   | ○   | ×   | ○    | ○    | ○   | ×   | ○  | ○    |   |
|                                   | 当せん金付証券の発売／新日明工場整備運営事業契約の一部変更／本城資源化センター整備・維持管理事業に係る設計・建設工事請負契約の一部変更／市道路線の認定、変更及び廃止／旦過地区立体換地建築物整備業務委託契約締結／損害賠償の額の決定及び和解／市有地の処分／指定管理者の指定(交通安全センター 他27件)   | 可決   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ○    | ○ |
|                                   | 指定管理者の指定(市立八幡図書館 他20件)  | 可決   | ○    | ○   | ○   | ×   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ○    |   |
|                                   | 一般会計補正予算の専決処分の報告  | 承認   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ○    |   |
| 議員が提出した議案                         | 特別会計補正予算(国民健康保険(第1号)、食肉センター(第1号)、卸売市場(第1号)、渡船(第1号)、土地区画整理(第2号)、公債償還(第2号)、土地取得(第2号)、介護保険(第2号)、臨海部産業用地貸付(第1号))／事業会計補正予算(交通(第1号)、公営競技(第2号))／一般会計補正予算(第5号)  | 可決   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ○    |   |
|                                   | 一般会計補正予算(第4号)   | 可決   | ○    | ○   | ○   | ×   | ○    | ○    | ×   | ×   | ○  | ○    |   |
|                                   | 市民センター条例の一部改正に対する付帯決議   | 可決   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ○    |   |
|                                   | 市議会委員会条例の一部改正／市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正  | 可決   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ○    |   |
|                                   | 子ども基本条例   | 可決   | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○   | ○   | ○  | ×    |   |
| 意見書                               | 女子差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書／医療機関の事業と経営維持のための財政支援措置を求める意見書   | 可決   | ○    | ○   | ○   | ○   | ×    | ○    | ○   | ○   | ○  | ×    |   |
|                                   | 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書   | 可決   | ×    | ○   | ○   | ○   | ○    | ×    | ○   | ○   | ○  | ×    |   |
|                                   | 日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書  | 否決   | ×    | ×   | ○   | ○   | ×    | ×    | ○   | ○   | ×  | ×    |   |
|                                   | 消費税率の引下げを求める意見書   | 否決   | ×    | ×   | ×   | ○   | ○    | ×    | ○   | ○   | ×  | ×    |   |
| 現行の健康保険証とマイナ保険証を併用できる体制の構築を求める意見書 | 否決  | ×    | ×    | ×   | ○   | ×   | ×    | ○    | ○   | ×   | ×  |      |   |

【各会派の一般的な名称】 自民・無：自民党・無所属の会 公明党：公明党 ハート：ハートフル北九州 共産党：日本共産党 維新の会：日本維新の会 自民市民：自民市民 井上し：井上しんご 村上さ：村上さとこ 若松：若松を愛する会 変革未来：変革と未来 ○：賛成 ×：反対

## 市議会の虚礼廃止へのご理解を

公職選挙法では、次のことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり、有料のあいさつ広告を出すこと。
- 議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと。
- 議員や後援会がお中元やお歳暮などを出すこと。
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと。(自筆の答礼は除く。)
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること。



このほか北九州市議会では、祝電や甲電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

## お知らせ

視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。

【問い合わせ】市議会事務局政策調査課 ☎582-2632 FAX 582-2685

### ●傍聴について

市議会の活動状況を知るために、本会議や委員会を傍聴できます。乳幼児連れや、ご高齢の方にご使用いただける特別傍聴室もあります。



## 請願・陳情の審議結果

市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

令和6年12月定例会では、請願16件、陳情178件が継続審査となりました。

本会議では、次の延べ29人が質疑・質問を行いました。掲載記事の順番は発言順です。なお、掲載している時間(分)は、議員の発言時間(執行部の答弁を含む)です。各日付の下にあるQRコードから、質疑・質問と答弁の動画をご覧いただけます。

12月3日  
会派質疑  
一般質問



会派質疑

市民センターについて

大石正信  
日本共産党  
60分

同センター条例を改正し、営利的の使用を認める規制緩和について、館長やまちづくり協議会等の意見をほとんど聞いていない。社会教育法を理念とする地域活動が同センターから排除される可能性があり、同規制緩和を撤回すべき。

市長

同規制緩和では、地域活動の拠点としての仕組みを担保することとしている。同センターを拠点として、若者や子育て・現役世代の利用を増やし、地域コミュニティ活動の輪を広げていく好循環を創出したい。

一般質問

市街化調整区域での開発・建築行為について

奥村直樹  
ハートフル北九州  
30分

市街化調整区域にも福祉施設等は存在するが、交通の便が悪く従業員確保が難しくなっている。従業員確保のため、建築が制限されている従業員が承認されるよう、早急に開発審査会で審査すべき。

都市戦  
略局長

医療機関や社会福祉施設等に限定し、従業員寮の開発を許可するための市街化調整区域の基準見直しについて、関係部局と協議するなど検討を進めているところであり、その結果を基に、開発審査会にて審査を行うなど適切に対応していきたい。

マイナ保険証について

伊藤淳一  
日本共産党  
30分

現行の公的医療保険制度のもとでは、保険証を発行・交付する責任は国、保険者にある。国民皆保険制度を支えてきた健康保険証の発行義務をなくしてしまふ政府の暴挙に対し強く抗議し、従来の健康保険証の発行を復活させるべき。

市長

本市は国が定めた関係法令に則り、マイナ保険証へのスムーズな移行を行う必要があるため、保険証の復活を要望することは考えていないが、今後も市民が安心して医療を受けられるよう適切に対応していく。

学校教育における体験活動の充実について

山本眞智子  
公明党  
60分

事業の棚卸しにより、今年度は美術館、平和のまちミュージアム、KGG等へ実際に出かけ、見たり聞いたり感じたりする機会が減っており残念に思う。本市独自の校外での体験活動を充実させるべき。

教育長

実物を実際に見たり、触れたりして学ぶが直接的な体験活動は、未来を生きる子どもたちの成長を後押しする大きな意味を持つものと考えている。今後も、より良い学びの場となる体験活動の機会を設けていけるよう、学校と共に知恵を絞っていく。

給食の無償化について

中村義雄  
自民党・無所属の会  
60分

10月8日、自由民主党・無所属の会から市長に対し、公立小中学校及び特別支援学校の給食費無償化について来年度の予算要望を行った。多額の予算がかかるため、段階的に無償化を始めるなど何らかの対策が必要だが見解を求める。

教育長

本市独自で給食費の無償化や一部補助を実施するためには、毎年多額の予算を要するため、昨年度から文部科学省に対し、学校給食費の保護者負担軽減に係る制度創設及び財源措置を要望しているところである。

12月4日 一般質問



本市の夜間・休日の救急診療体制について

西田 一  
自民党・無所属の会  
60分

現場の医療スタッフの負担を軽減するために、市民に対する医療サービスの質を確保しながら、夜間・休日の救急診療体制の効率的な再編等を医師会と協議すべきと考えるが、見解について尋ねる。

保健福祉局長

同体制の協議について市医師会に設置された委員会に本市も毎回出席している。同委員会では、将来に向け今後の同体制の在り方に対する議論を始めるべきとの意見をいただいております。本市も有識者で構成する検討会で議論を行うこととしている。

保育現場での保育士の労働負担軽減について

有田絵里  
日本維新の会  
30分

保育士の労働負担軽減を目的とし

た事務作業のICT化のほか、国の方針でもある実費徴収や利用料のキャッシュレス決済導入について、本市の現状や課題、費用対効果の見通しについて尋ねる。

市長

ICT化を積極的に進めてきた結果、民間保育所の約94%で業務システムが導入されている。なお、キャッシュレス化は施設側に初期費用等の新たな負担も生じるので、導入支援に併せ運営面でのフォローアップも検討の必要があると考えている。

ごみステーションの散乱対策について

永井 佑  
日本共産党  
30分

本市は、ごみステーション集積容器等設置費用を全額補助するとともに、補助制度や市の未利用地等の活用を紹介したチラシを作成し、各ごみステーションへの掲示や公式LINEでの告知、収集車からのアナウンスを実施すべき。

市長

同費用は一定の負担をいただくことで、地域の快適性を守る意識と行動の喚起につながるため、全額補助は考えていない。今後も多様な媒体を活用して、折り畳み式の集積容器のメリットを周知し普及を図りたい。

動物愛護の取組の強化について

木下幸子  
公明党  
60分

地域猫活動等がさらに活発に進むよう、支援の要件緩和や動物愛護団体等との連携強化のほか、団体の活動への経済的支援と団体同士の交流等が必要と考える。現状と今後の取組強化について尋ねる。

保健福祉局長

動物愛護センターが保護した犬猫を連携する団体へ譲渡する際には市が不妊去

勢手術等を行うなど負担軽減を図ってきた。今年度は団体等が保護・飼養する犬猫の譲渡を前提に、不妊去勢手術費用の一部を助成する支援を行うこととしている。



若松南海岸の観光地化について

本田一郎  
若松を愛する会  
30分

若松区の高塔山から火野葦平旧居「河伯洞」、さらには若松南海岸周辺を、文化と歴史豊かな観光地として推進し、商店街の活性化や地域の賑わい創出に寄与するための具体的な施策について尋ねる。

市長

若松南海岸エリアについては今後も商店街をはじめとする地域、民間事業者等と連携し集客・賑わい創出の取組を進めると共に、他区の観光施設ともさまざまなテーマで連携するなど、観光客に同エリアを訪れてもらう機会の拡大に努めていく。

血倉山スロープカーについて

白石一裕  
ハートフル北九州  
30分

スロープカーの更新時期が近づいている。新たな交通手段や輸送手段を検討する場や期間、更新時期等の計画について尋ねる。また、代表的な観光スポットとして、八幡駅から血倉山まで行ける輸送手段を導入してはどうか尋ねる。

都市戦略局長

来年度以降に有識者会創設を設け検討を進めるので、その結果を踏まえ更新時期等、一定の方向性を示したい。今後も血倉山頂へのアクセスとともにその魅力づくりの方策等についても検討を深めていきたい。

公立私立問わず子どもの声を聴くことについて

井上しんご  
井上しんご  
30分

市長は私立学校や朝鮮学校の補助金を38%削減し、公立学校では部活動の全国大会派遣費削減や備品費全額カットをしたほか、数々の体験活動を廃止したが、元に戻すべき。学校を訪ね、現場で子どもたちの生の声を聴くことを求める。

市長

さまざまな機会を捉えて子どもと接する折には、その声に耳を傾けながら、個性を尊重し、将来の可能性を引き出して「彩りあるまち」づくりを牽引する人材を育てていくべき。全力で取組んでいきたい。

12月5日 一般質問



交通手段に制約がある人への対応について

吉村太志  
自民党・無所属の会  
30分

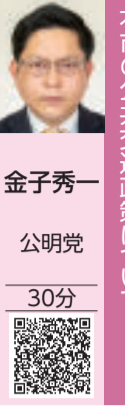
高齢者の多くは、公共交通に頼らなければ移動手段の確保が困難である。高齢者に積極的に外出してもらうためにも、今後どのような公共交通政策に取組んでいくのか、市の見解について尋ねる。

都市戦略局長

持続可能な交通手段を確保するためには、「おでかけ交通」に加え、地域のさまざまな輸送手段の活用が重要と考える。関係者等との協議に向け、他の交通手段の調査を開始したところであり、その結果を踏まえ連携の可能性を探っていく。



本市の公共交通政策について



金子秀一  
公明党  
30分

本市では公共交通空白地域における「おでかけ交通」を進めているが、福岡市で令和4年から社会実験を行っている「オンデマンド交通」のような、同空白地域を限定しない政策を検討できないか。

都市戦 本市では、同空白地域ではないエリアで生活

交通の相談を受けた際は、住民のニーズ等を把握し、交通事業者に働きかけ、ルート変更を行うなど、地域の課題に対応している。今後新技術を活用した他都市の事例も研究し、適切に対応していく。

本市独自の物価高騰対策について



出口成信  
日本共産党  
30分

日本共産党の市政アンケートには「暮らしが苦しくなった」「将来が不安」との声が多く寄せられており、物価高騰による市民の苦しみは深刻である。国の支援だけでは不十分であり、他自治体同様に本市独自財源で同対策を行うべき。

財政・変革 本市では現在、国の重点支援地方交付金を活用し、給食食材価格高騰支援やプレミアム付商品券の発行支援等を行っているが、追加交付される同交付金の情報収集に努め、活用の方

り方について検討を進めていく。

産前産後における支援について



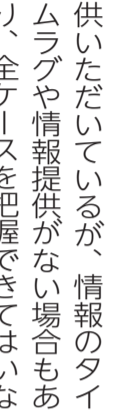
泉日出夫  
ハートフル北九州  
30分

流産・死産・人工妊娠中絶といった周産期での子どもとの死別は深い悲しみを受ける。子どもが亡くなった情報の共有が不十分で家族

を傷つけることがないよう、市はどのような対策を行っているのか。

本市は現在、医療機関から流産等の情報を提供いただいているが、情報のタイムラグや情報提供がない場合もあり、全ケースを把握できてはいない。今後、より確実に対象の方を把握するため、関係部署で適切に情報共有できるように検討していく。

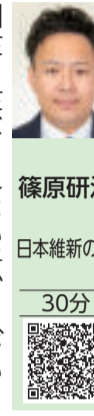
小中学校での朝食提供について



篠原研治  
日本維新の会  
30分

朝食を食べられない子どもがいる中、他都市でも実施している小学校での朝ごはん提供を実施できないか。欠席率や遅刻率の改善、健康促進や学力向上、子育ての負担軽減につながる取組である。

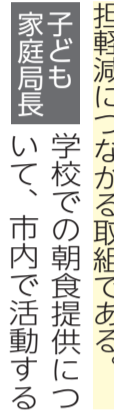
子ども 学校での朝食提供について、市内で活動する



高橋都  
日本共産党  
30分

子ども食堂に対し、他都市の事例を紹介するなど情報提供を行うとともに、同提供の意向のある団体があれば開設や運営面で支援するほか、学校を含め地域団体との連携等について支援していきたい。

初代門司駅遺構の取扱いについて



藤澤加代  
日本共産党  
60分

同取扱いに関して市長が発表した「5つの方策」の決定プロセスについて、いつ、どこで、誰と丁寧な議論を重ねて決定したのか。発表を常任委員会への報告と同時に行ったのは議会軽視ではないか。

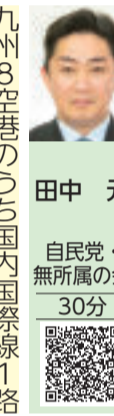
市長等 同方策は、昨年の同遺構の出土以降、市議会

での議論、地元や市民への説明会の開催、文化財の専門家やまちづくり団体、日本イコモス、文化財保護審議会等の専門家との意見交

換等を重ね、組織全体で慎重かつ丁寧

に検討し発表に至っている。

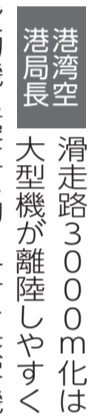
北九州空港の路線誘致について



田中元  
自民党・無所属の会  
30分

九州8空港のうち国内国際線1路線なのは北九州空港だけで非常に残念である。原因を追究し改善してほしい。滑走路3000m化は路線誘致に良い影響を与えるのか、どのように取組むのか尋ねる。

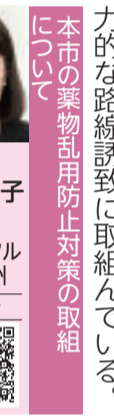
港湾空 滑走路3000m化は



森結実子  
ハートフル北九州  
30分

薬物乱用には違法薬物の使用と市販薬の過剰摂取がある。特に10〜20代の若者の大麻事犯や市販薬の過剰摂取が増加傾向にある。ホームページの一本化や街頭活動を年

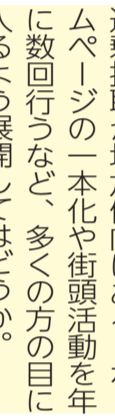
保健福 若者が薬物乱用の危険



渡辺徹  
公明党  
30分

子ども達が多様化する犯罪に巻き込まれないよう、さらに地域や関

折尾地区総合整備事業について



鷹木研一郎  
自民党・無所属の会  
30分

本会議で同事業について質問するのは28回目である。平成16年度に開始したこの事業は、本年度で21年目に入り、街が大きく生まれ変わった。折尾駅南側へ民間開発を積極的

折尾地区総合整備事業について

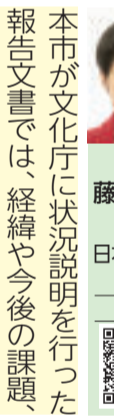


三宅まゆみ  
ハートフル北九州  
30分

認知症の前段階である軽度認知障害は適切な治療・予防によって回復したり、発症が遅延したりもする。啓発も重要で、認知症サポート養成講座だけでなく本人や家族が当事者として取組みやすい講座も必要と考えるが、見解を伺う。

軽度認知障害について

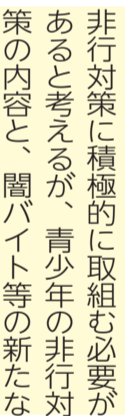
折尾地区総合整備事業について



鷹木研一郎  
自民党・無所属の会  
30分

本会議で同事業について質問するのは28回目である。平成16年度に開始したこの事業は、本年度で21年目に入り、街が大きく生まれ変わった。折尾駅南側へ民間開発を積極的

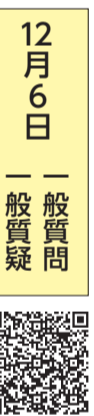
折尾地区総合整備事業について



鷹木研一郎  
自民党・無所属の会  
30分

本会議で同事業について質問するのは28回目である。平成16年度に開始したこの事業は、本年度で21年目に入り、街が大きく生まれ変わった。折尾駅南側へ民間開発を積極的

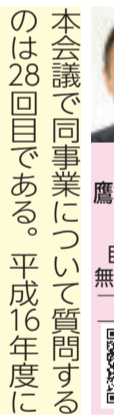
折尾地区総合整備事業について



鷹木研一郎  
自民党・無所属の会  
30分

本会議で同事業について質問するのは28回目である。平成16年度に開始したこの事業は、本年度で21年目に入り、街が大きく生まれ変わった。折尾駅南側へ民間開発を積極的

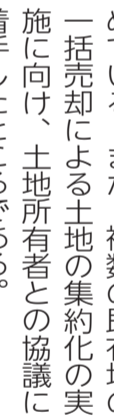
折尾地区総合整備事業について



鷹木研一郎  
自民党・無所属の会  
30分

本会議で同事業について質問するのは28回目である。平成16年度に開始したこの事業は、本年度で21年目に入り、街が大きく生まれ変わった。折尾駅南側へ民間開発を積極的

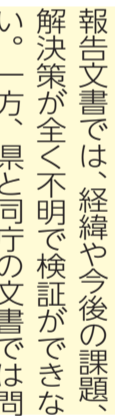
折尾地区総合整備事業について



鷹木研一郎  
自民党・無所属の会  
30分

本会議で同事業について質問するのは28回目である。平成16年度に開始したこの事業は、本年度で21年目に入り、街が大きく生まれ変わった。折尾駅南側へ民間開発を積極的

折尾地区総合整備事業について



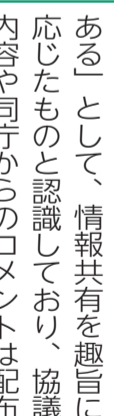
鷹木研一郎  
自民党・無所属の会  
30分

本会議で同事業について質問するのは28回目である。平成16年度に開始したこの事業は、本年度で21年目に入り、街が大きく生まれ変わった。折尾駅南側へ民間開発を積極的

書をわかりやすく作成すべき。

本年7月、県と共に同都庁を訪問したが、同庁は「埋蔵文化財行政は自治事務である」として、情報共有を趣旨に

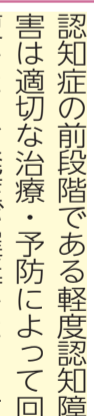
軽度認知障害について



三宅まゆみ  
ハートフル北九州  
30分

認知症の前段階である軽度認知障害は適切な治療・予防によって回復したり、発症が遅延したりもする。啓発も重要で、認知症サポート養成講座だけでなく本人や家族が当事者として取組みやすい講座も必要と考えるが、見解を伺う。

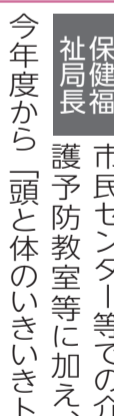
軽度認知障害について



三宅まゆみ  
ハートフル北九州  
30分

認知症の前段階である軽度認知障害は適切な治療・予防によって回復したり、発症が遅延したりもする。啓発も重要で、認知症サポート養成講座だけでなく本人や家族が当事者として取組みやすい講座も必要と考えるが、見解を伺う。

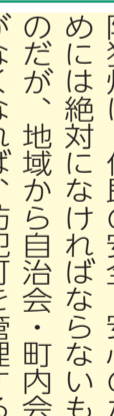
軽度認知障害について



三宅まゆみ  
ハートフル北九州  
30分

認知症の前段階である軽度認知障害は適切な治療・予防によって回復したり、発症が遅延したりもする。啓発も重要で、認知症サポート養成講座だけでなく本人や家族が当事者として取組みやすい講座も必要と考えるが、見解を伺う。

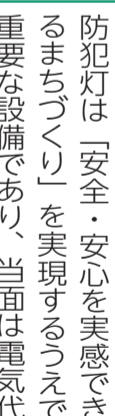
軽度認知障害について



三宅まゆみ  
ハートフル北九州  
30分

認知症の前段階である軽度認知障害は適切な治療・予防によって回復したり、発症が遅延したりもする。啓発も重要で、認知症サポート養成講座だけでなく本人や家族が当事者として取組みやすい講座も必要と考えるが、見解を伺う。

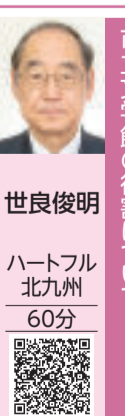
軽度認知障害について



三宅まゆみ  
ハートフル北九州  
30分

認知症の前段階である軽度認知障害は適切な治療・予防によって回復したり、発症が遅延したりもする。啓発も重要で、認知症サポート養成講座だけでなく本人や家族が当事者として取組みやすい講座も必要と考えるが、見解を伺う。

市立文学館の役割について



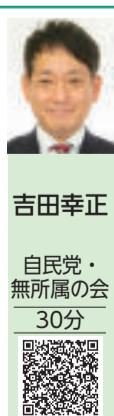
世良俊明  
ハートフル北九州  
60分

本市の豊かな文学風土を情報発信する同館の役割と取組の拡充について尋ねる。また、芥川賞作家を二人も輩出し、若手作家の登竜門としての地位を確立しつつある林芙美子文学賞は今後も継続すべき。

市長等 同館では、今後新たな

催し等により問口を広げ、若い世代等の来館を促し、「文学の街・北九州」の拠点として文学の魅力伝える役割を果たしていきたい。また、同文学賞は歴史を積み重ねた、影響力を持つ素晴らしい賞として育てていきたい。

旧九州厚生年金会館の休館について



吉田幸正  
自民党・無所属の会  
30分

同会館は2000席を超えるソレイユホールを有し、近年は大型コンサートも増えている。同会館は老朽化のため来年4月から休館し、改修に向けた調査を行うが、同ホールを最優先で改修し、イベント事業の再開に向けて動くべき。

都市ブランド まちの賑わい創出や多

彩な文化振興に向け、ホールの早期再開は重要である。まずは老朽化調査により施設の状況を詳細に把握し、今後の方向性の検討や設計を行う中で、具体的な工期等について見定めていく。

聴覚障害のある傍聴者のために大型モニターを設置し、音声認識のAIを活用して本会議での発言内容等を字幕表示しています。



物価高騰対策について

村上さとこ 村上さとこ 30分

国による非課税世帯への支給は早くも2月中旬ということですが、長い。非課税世帯以外にも物価高騰の影響は及んでいるが、市独自の支援は行っているのか。困っている全体的な方が年末年始に悩まなくなると、広報が必要と考える。

保健福祉 交付金については詳細な内容が判明していません。そのため、フードサポート北九州といったこれまでの取組で対応していきたい。また、相談者には年末年始の前に相談窓口に来ることに、積極的に広報していきたい。



12月11日 一般質疑

子ども基本条例の非公開議論での強行可決について

井上純子 変革と未来 30分

条例制定に当たり、検討会の参加議員や意見聴取団体、議事録を非公開のままパブリックコメントを実施し、疑問の声を無視して可決するのは議会の暴走である。子どもの権利、尊厳を守る条例には賛成だが条文は慎重に審議すべき。

議案提出 条例を作るに当たり、いろいろな団体の意見を

聞いたが、個人情報に触れる内容もあり議事録の公開は慎重にならな。今後条文については状況に応じて市民の声を聴き、柔軟に改正を続けていくものと考えている。

常任委員会の所管事務調査について報告します



常任委員会とは

市議会では、業務内容が非常に幅広く、複雑化している市政について、部門別に所管する6つの常任委員会を設置し、議案や請願等の審査、所管事務の調査等を行っています。

所管事務調査について

所管事務調査とは、常任委員会が所管する事務の中から、特に重要な事項を自主的に取り上げ、積極的に調査を行うことができる法律上の権限です。

総務財政委員会

〈調査項目〉人口増加対策について

本市では従前より、地元就職や定住移住の促進など多岐にわたる地方創生の取組を進めています。本委員会では、人口100万都市の復活を掲げた新市政の誕生を受け、これまでの取組を踏まえた上で、本市が目指す将来の都市像や重点戦略などを掲げる新ビジョンの策定を中心に、人口増加に向けた取組について議論しました。



静岡県におけるメタバースを活用した取組の視察

〈他の調査項目〉◎行財政改革のさらなる推進について ◎大都市財政の実態に即応する財源の拡充について

経済港湾委員会

〈調査項目〉地域経済の活性化とにぎわいづくりについて

本市は、産業構造の転換や人口減少など様々な課題を抱えており、経済社会環境の変化に対応し、「稼げるまち」の実現を目指す北九州市産業振興未来戦略を策定しました。本委員会では、地域経済の活性化に向け、本市の地域経済の要である中小企業への支援や地域未来投資促進法を活用した企業誘致の取組等について議論しました。



千葉県における地域未来投資促進法を活用した取組の視察

〈他の調査項目〉◎港湾機能(洋上風力発電事業を含む)の強化について ◎公営競技における一般財源及び地域への貢献について

教育文化委員会

〈調査項目〉質の高い教育環境の整備について

少子化や不登校児童生徒の増加など、子どもたちを取り巻く課題は多様化、複雑化しており、一人一人に寄り添った個別最適な支援が求められています。また、教員の働き方改革も喫緊の課題となっています。本委員会では、このような時代の変化に対応した質の高い教育環境の在り方について、子どもと教員の両面から議論しました。



安平町立早来学園における義務教育学校の取組の視察

〈他の調査項目〉◎地域コミュニティの活性化について ◎観光・文化・スポーツの振興による都市ブランドの向上について

保健福祉委員会

〈調査項目〉子育てしやすいまちづくりについて

少子化が進み、より子育てしやすい環境の整備が求められている中、本市では、全国初となる「こどもまんなかcity宣言」を行い、市全体でこどもまんなか社会の実現に向けた取組を進めています。本委員会では、子どもが安全に安心して生活でき、本市で子育てしたいと思える環境づくり等について議論しました。



横浜市におけるこども誰でも通園制度の取組の視察

〈他の調査項目〉◎新型コロナウイルス等感染症への対応について ◎いきいき長寿プランについて

環境水道委員会

〈調査項目〉防火防災活動と災害に強いまちづくりについて

本市では、市場・商店街等における大規模火災や、近年の気候変動等の影響により激甚化している自然災害に備えた取組が進められています。本委員会では、特に木造密集地域における重点的な防火対策の取組や、過去最大級の自然災害から市民の命を守る体制づくり等について議論しました。



巨過地区における防火対策の取組の視察

〈他の調査項目〉◎SDGs未来都市にふさわしい環境政策の推進について

建設建築委員会

〈調査項目〉魅力的なまちづくりについて

人口減少や少子高齢化が進み、まちの活力低下が懸念される中、本市では、居住環境の向上やウォークラブルなまちづくりなど、限られた資源を最大限に活用し、まちの魅力を高める取組を行っています。本委員会では、防草対策をはじめとした道路整備や空き家対策など、魅力的なまちづくりについて、幅広い分野で議論しました。



神戸市における防草対策の取組の視察

〈他の調査項目〉◎防災・減災対策について ◎交通政策について

北九州空港機能強化・利用促進特別委員会の調査研究について報告します



特別委員会とは

市議会において必要がある場合に、議会の議決により設置する委員会です。

北九州空港機能強化・利用促進特別委員会について

令和3年6月に本委員会を設置し、北九州空港の発展に向け、コロナ禍の影響を受けた旅客のV字回復や物流拠点化等について、調査研究を行ってきました。

〈調査研究項目〉北九州空港の滑走路3,000m化の早期実現等、機能強化について

本委員会や本市議会をはじめ、本市や福岡県・苅田町の様々な主体が一丸となり、国に対して強力に要望活動等を行ってきた結果、悲願であった滑走路延長事業が令和5年3月末に国の新規事業として採択されました。延長される滑走路は令和9年8月末の供用開始が予定されており、北米・欧州への直行便就航が可能となることから、物流拠点化の進展によって、本市だけでなく北部九州全体の発展に大きく寄与するものと期待されています。



熊本空港視察

〈他の調査研究項目〉◎北九州空港における航空ネットワークの継続・発展及び利用促進、並びに就航航空会社への支援のあり方について ◎北九州空港に関する福岡県との連携強化について ◎北九州空港の運営形態のあり方について

令和7年1月26日の北九州市議会議員一般選挙で、57名の議員が選出されました。次回(5月を予定)発行する北九州市議会だよりにおいて、顔写真入りで紹介いたします。

新たに選出された議員は、市議会ホームページでご確認いただけます。 [https://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/menu11\\_0002.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/menu11_0002.html)

